

# 福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ

号機	1号機		2号機		3号機	
	2月27日	3月27日	2月27日	3月27日	2月27日	3月27日
原子炉注水状況	給水系：1.4m <sup>3</sup> /h CS系：1.3m <sup>3</sup> /h (2/27 11:00 現在)	給水系：2.4m <sup>3</sup> /h CS系：1.3m <sup>3</sup> /h (3/27 11:00 現在)	給水系：1.3m <sup>3</sup> /h CS系：1.5m <sup>3</sup> /h (2/27 11:00 現在)	給水系：1.3m <sup>3</sup> /h CS系：1.5m <sup>3</sup> /h (3/27 11:00 現在)	給水系：1.5m <sup>3</sup> /h CS系：1.5m <sup>3</sup> /h (2/27 11:00 現在)	給水系：1.4m <sup>3</sup> /h CS系：2.4m <sup>3</sup> /h (3/27 11:00 現在)
原子炉圧力容器 底部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1)：14.6℃ 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1)：14.5℃ VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2)：14.4℃ (2/27 11:00 現在)	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1)：15.1℃ 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1)：15.0℃ VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2)：14.9℃ (3/27 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3)：20.3℃ RPV 温度 (TE-2-3-69R)：20.6℃ (2/27 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3)：20.1℃ RPV 温度 (TE-2-3-69R)：19.9℃ (3/27 11:00 現在)	スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1)：19.1℃ RPV/底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1)：17.6℃ (2/27 11:00 現在)	スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1)：18.6℃ RPV/底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1)：17.2℃ (3/27 11:00 現在)
原子炉格納容器 内温度	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A)：14.9℃ HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F)：14.4℃ (2/27 11:00 現在)	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A)：15.2℃ HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F)：15.0℃ (3/27 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B)：21.3℃ SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2-16B (TE-16-114G#1)：20.8℃ (2/27 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B)：21.1℃ SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2-16B (TE-16-114G#1)：20.3℃ (3/27 11:00 現在)	格納容器空調機戻り空気温度 (TE-16-114A)：18.8℃ 格納容器空調機供給空気温度 (TE-16-114F#1)：17.2℃ (2/27 11:00 現在)	格納容器空調機戻り空気温度 (TE-16-114A)：18.6℃ 格納容器空調機供給空気温度 (TE-16-114F#1)：16.9℃ (3/27 11:00 現在)
原子炉格納容器 圧力	0.52kPa g (2/27 11:00 現在)	0.67kPa g (3/27 11:00 現在)	2.65kPa g (2/27 11:00 現在)	1.41kPa g (3/27 11:00 現在)	0.34kPa g (2/27 11:00 現在)	0.35kPa g (3/27 11:00 現在)
窒素封入流量 ※1	RPV (RVH)：14.07Nm <sup>3</sup> /h (JP)：14.54Nm <sup>3</sup> /h PCV：-Nm <sup>3</sup> /h ※2 (2/27 11:00 現在)	RPV (RVH)：13.83Nm <sup>3</sup> /h (JP)：14.75Nm <sup>3</sup> /h PCV：-Nm <sup>3</sup> /h ※2 (3/27 11:00 現在)	RPV：10.58Nm <sup>3</sup> /h PCV：-Nm <sup>3</sup> /h ※2 (2/27 11:00 現在)	RPV：10.42Nm <sup>3</sup> /h PCV：-Nm <sup>3</sup> /h ※2 (3/27 11:00 現在)	RPV：17.46Nm <sup>3</sup> /h PCV：-Nm <sup>3</sup> /h ※2 (2/27 11:00 現在)	RPV：17.21Nm <sup>3</sup> /h PCV：-Nm <sup>3</sup> /h ※2 (3/27 11:00 現在)
原子炉格納容器 水素濃度 ※3	A系：0.00vol% B系：0.00vol% (2/27 11:00 現在)	A系：0.00vol% B系：0.00vol% (3/27 11:00 現在)	A系：0.08vol% B系：0.07vol% (2/27 11:00 現在)	A系：0.08vol% B系：0.07vol% (3/27 11:00 現在)	A系：0.04vol% B系：0.03vol% (2/27 11:00 現在)	A系：0.07vol% B系：0.08vol% (3/27 11:00 現在)
原子炉格納容器 放射能濃度 (Xe135)	A系：1.13E-03Bq/cm <sup>3</sup> B系：1.14E-03Bq/cm <sup>3</sup> (2/27 11:00 現在)	A系：8.80E-04Bq/cm <sup>3</sup> B系：1.30E-03Bq/cm <sup>3</sup> (3/27 11:00 現在)	A系：ND(1.5E-01Bq/cm <sup>3</sup> 以下) B系：ND(1.4E-01Bq/cm <sup>3</sup> 以下) (2/27 11:00 現在)	A系：ND(1.5E-01Bq/cm <sup>3</sup> 以下) B系：ND(1.4E-01Bq/cm <sup>3</sup> 以下) (3/27 11:00 現在)	A系：ND(2.3E-01Bq/cm <sup>3</sup> 以下) B系：ND(2.3E-01Bq/cm <sup>3</sup> 以下) (2/27 11:00 現在)	A系：ND(2.3E-01Bq/cm <sup>3</sup> 以下) B系：ND(2.3E-01Bq/cm <sup>3</sup> 以下) (3/27 11:00 現在)
使用済燃料 プール水温度	16.8℃ ※4 (2/18 11:00 現在)	19.2℃ ※4 (3/24 11:00 現在)	17.5℃ ※5 (2/19 11:00 現在)	18.7℃ (3/27 11:00 現在)	17.3℃ (2/27 11:00 現在)	17.9℃ (3/27 11:00 現在)
FPC 貯蔵タンク 水位	4.05m ※4 (2/18 11:00 現在)	3.67m ※4 (3/24 11:00 現在)	5.55m (2/27 11:00 現在)	4.19m (3/27 11:00 現在)	5.33m (2/27 11:00 現在)	4.55m (3/27 11:00 現在)

号機	4号機		5号機		6号機	
	2月27日	3月27日	2月27日	3月27日	2月27日	3月27日
使用済燃料 プール水温度	13.6℃ ※6 (2/26 11:00 現在)	15.7℃ (3/27 11:00 現在)	18.5℃ (2/27 11:00 現在)	18.3℃ (3/27 11:00 現在)	16.4℃ (2/27 11:00 現在)	16.9℃ (3/27 11:00 現在)
FPC 貯蔵タンク 水位	6.74m (2/27 11:00 現在)	3.76m (3/27 11:00 現在)	2.60m (2/27 11:00 現在)	4.30m (3/27 11:00 現在)	2.85m (2/27 11:00 現在)	3.00m (3/27 11:00 現在)

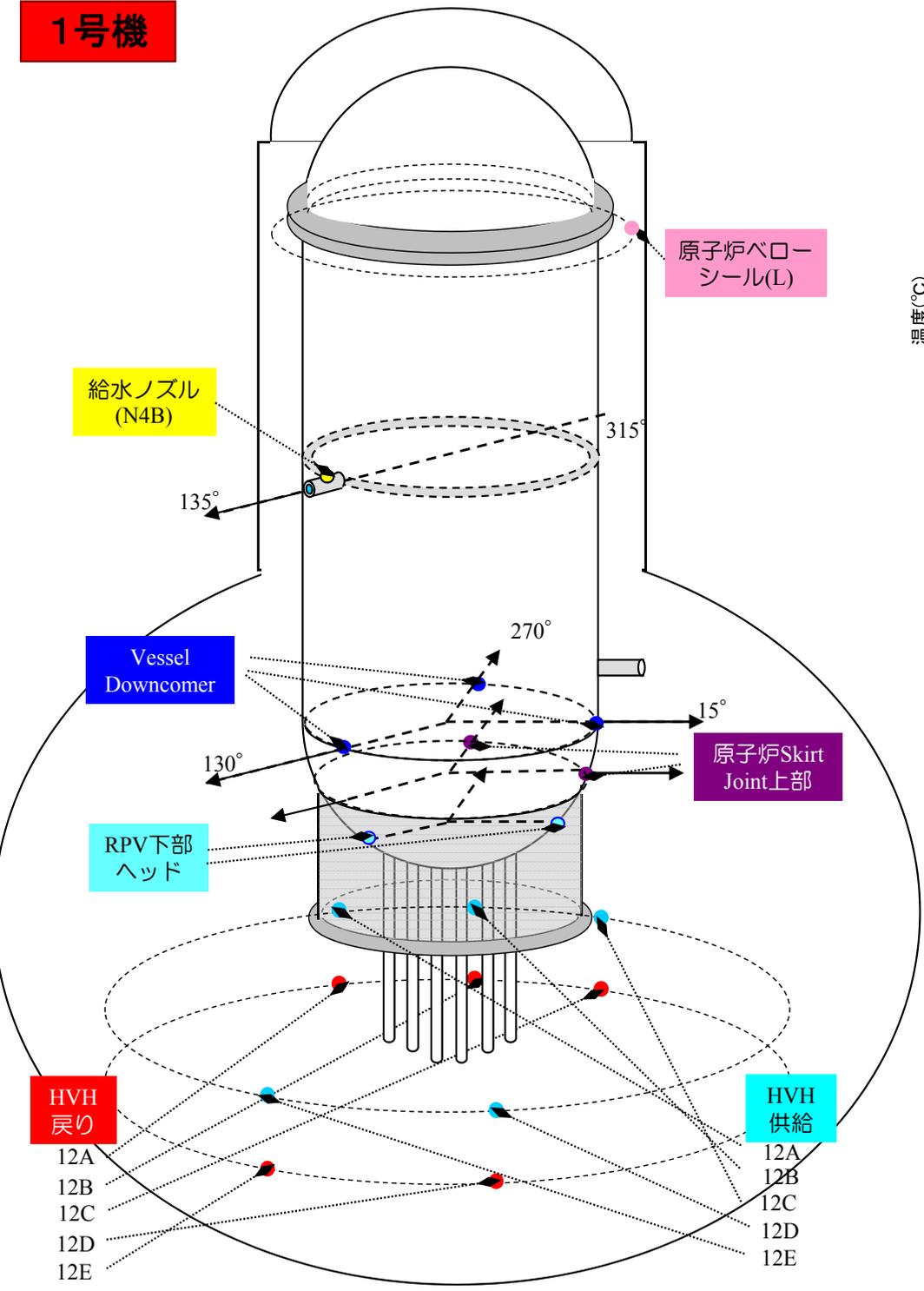
※1: 使用状態の温度・圧力で流量補正した値を記載する。  
 ※2: 窒素封入停止中  
 ※3: 指示値がマイナスの場合は0.00vol%と記載する。(水素濃度が極めて低い場合は、計器精度によりマイナス表示される場合があるため)  
 ※4: 1号機使用済燃料プール一次系ポンプ停止中のため、1号機使用済燃料プール水温度及びスキマサージタンク水位に関しては至近のデータを記載。  
 ※5: 2号機使用済燃料プール一次系ポンプ停止中のため、2号機使用済燃料プール水温度に関しては至近のデータを記載。  
 ※6: 4号機使用済燃料プール一次系ポンプ停止中のため、4号機使用済燃料プール水温度に関しては至近のデータを記載。

※注水冷却を継続することにより、1～3号機の原子炉圧力容器底部温度、格納容器気相部温度は、号機や温度計の位置によって異なるものの、至近1ヶ月において、約15℃～約25℃で推移。

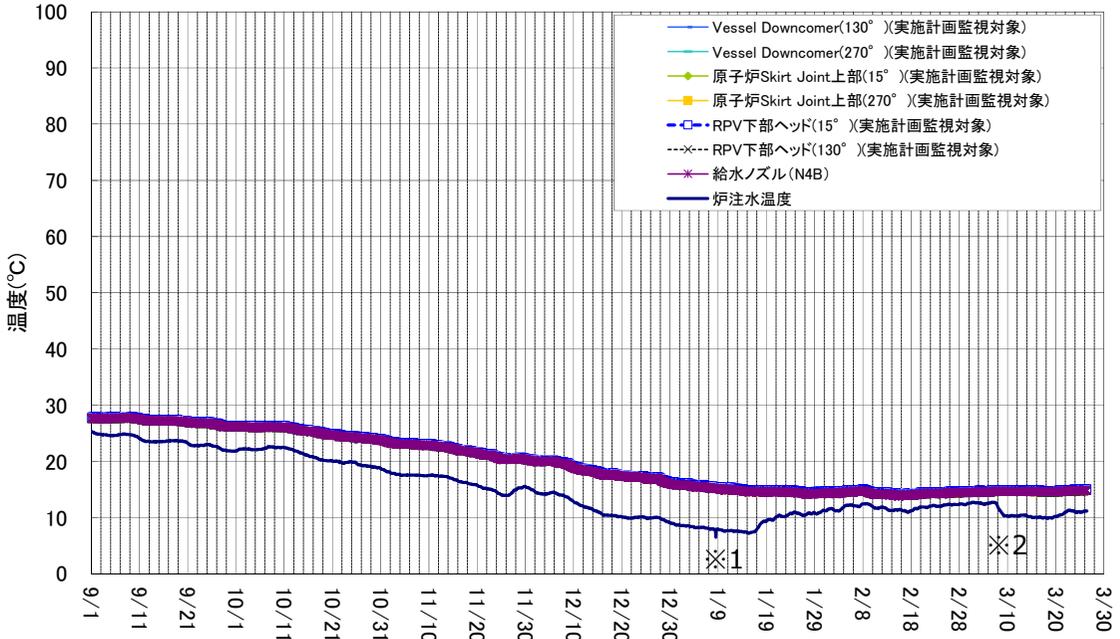
格納容器内圧力や格納容器からの放射性物質の放出量等のパラメータについては有意な変動はなく、冷却状態の異常や臨界等の兆候は確認されていない。

以上より、総合的に冷温停止状態を維持しており、原子炉が安定状態にあることを確認。

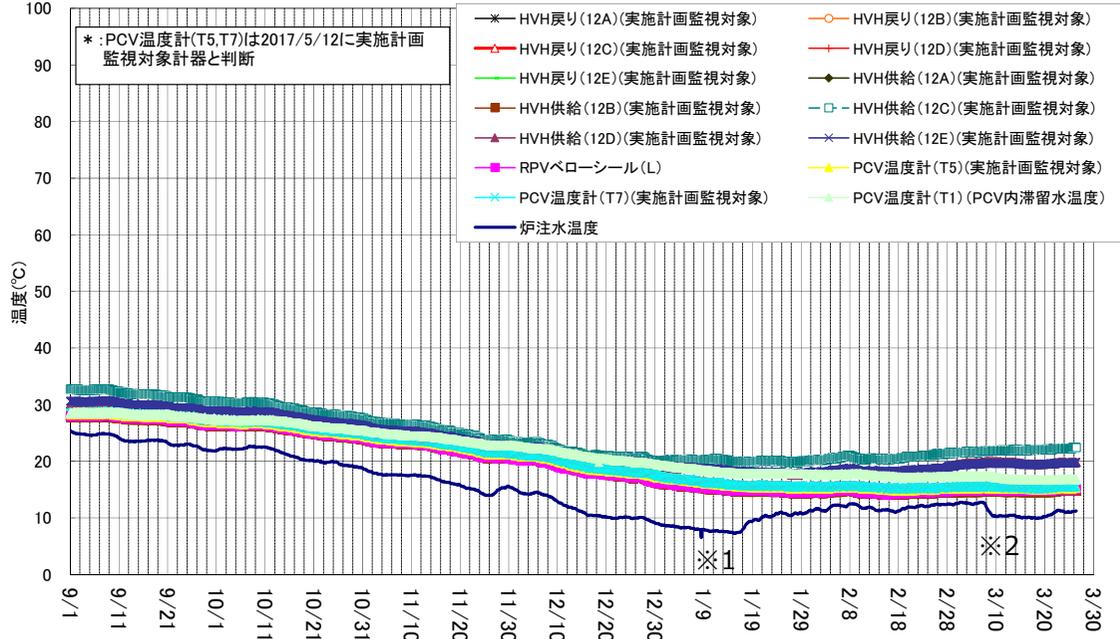
# 1号機



1号機 原子炉压力容器まわり温度(9/1~3/26)

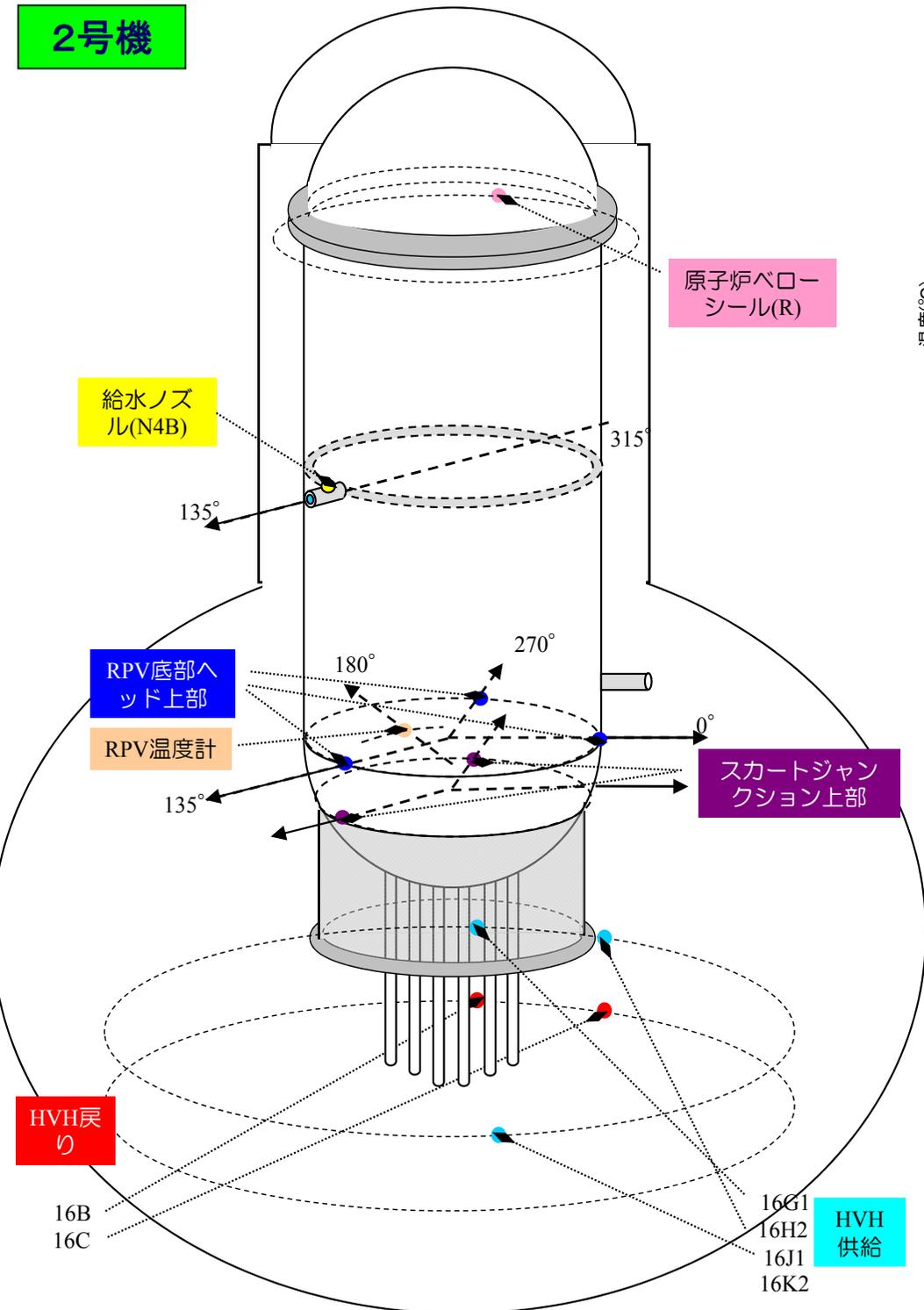


1号機 D/W雰囲気温度(9/1~3/26)

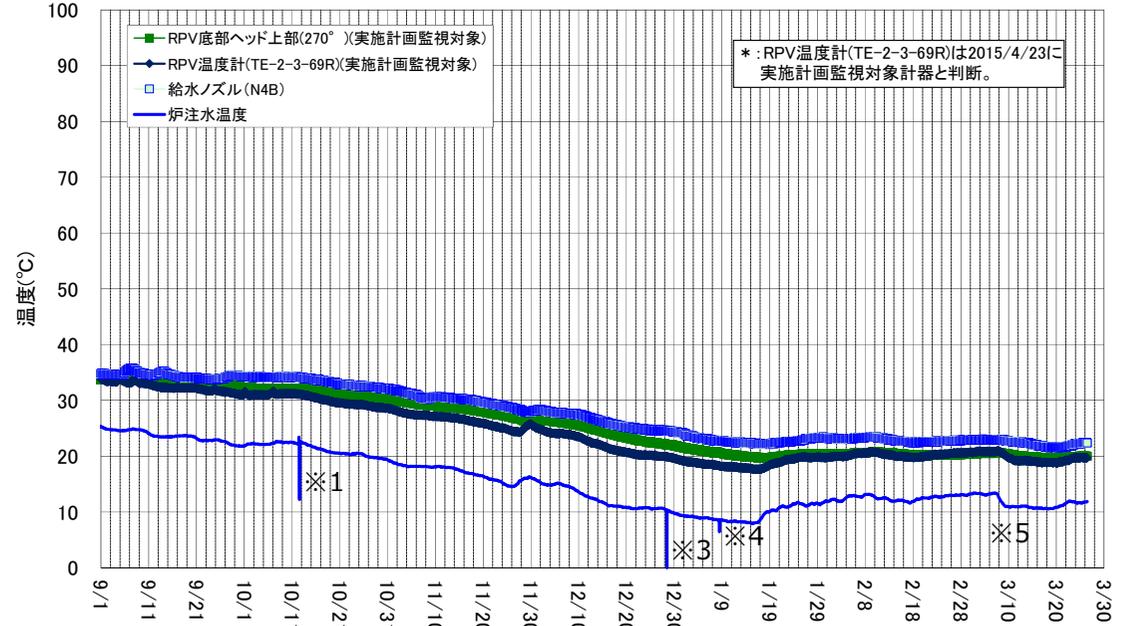


※1 1/8 炉注水源切替作業に伴いデータ変動  
 ※2 3/7 炉注水供給ライン切替に伴いデータ変動

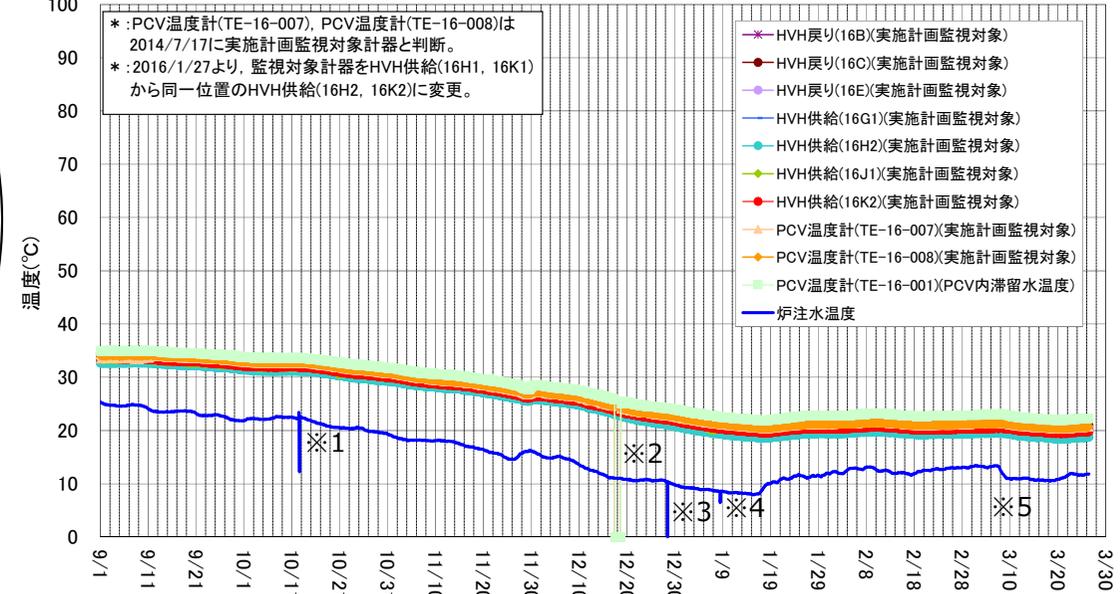
# 2号機



2号機 原子炉压力容器まわり温度 (9/1~3/26)

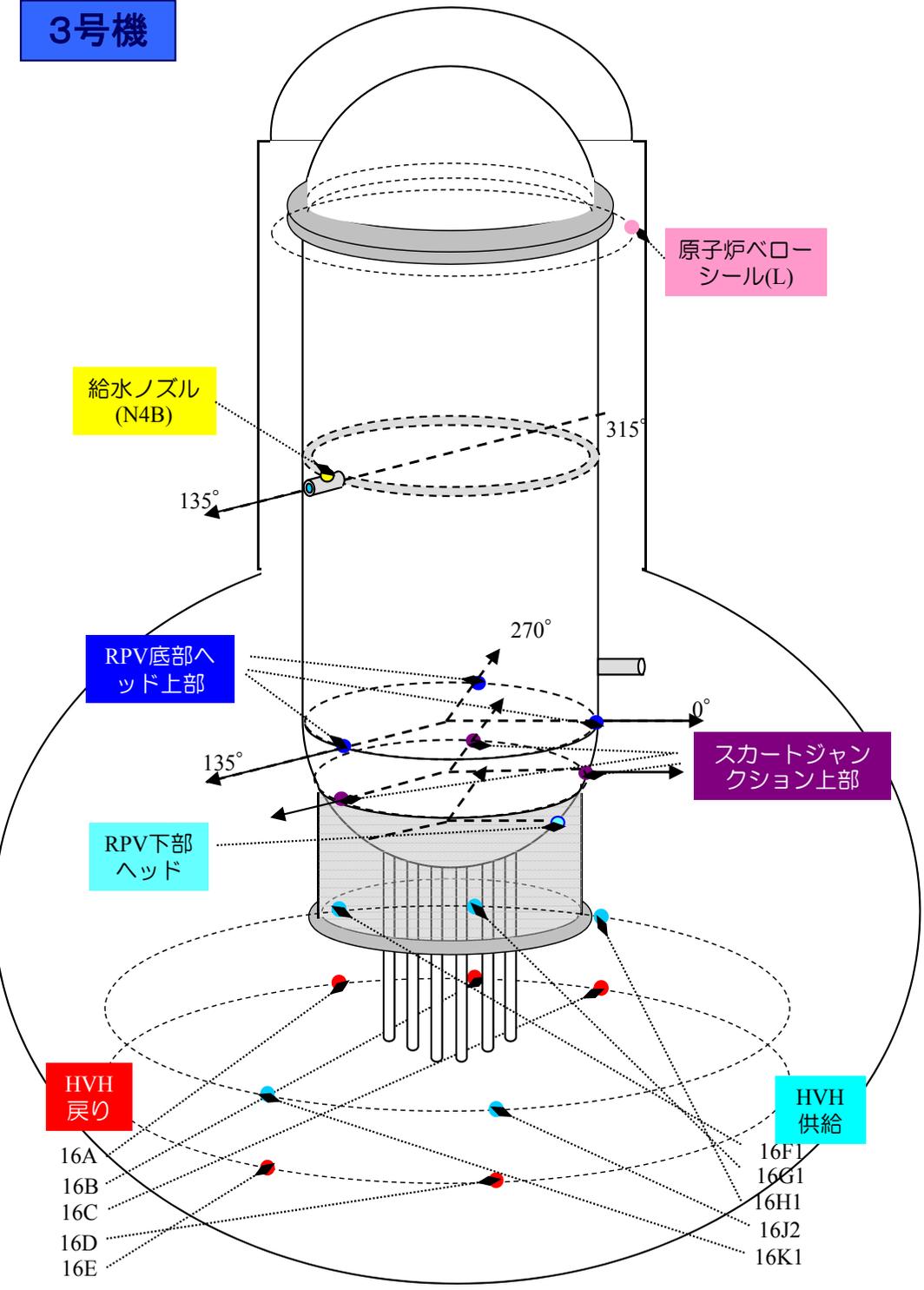


2号機 D/W雰囲気温度 (9/1~3/26)

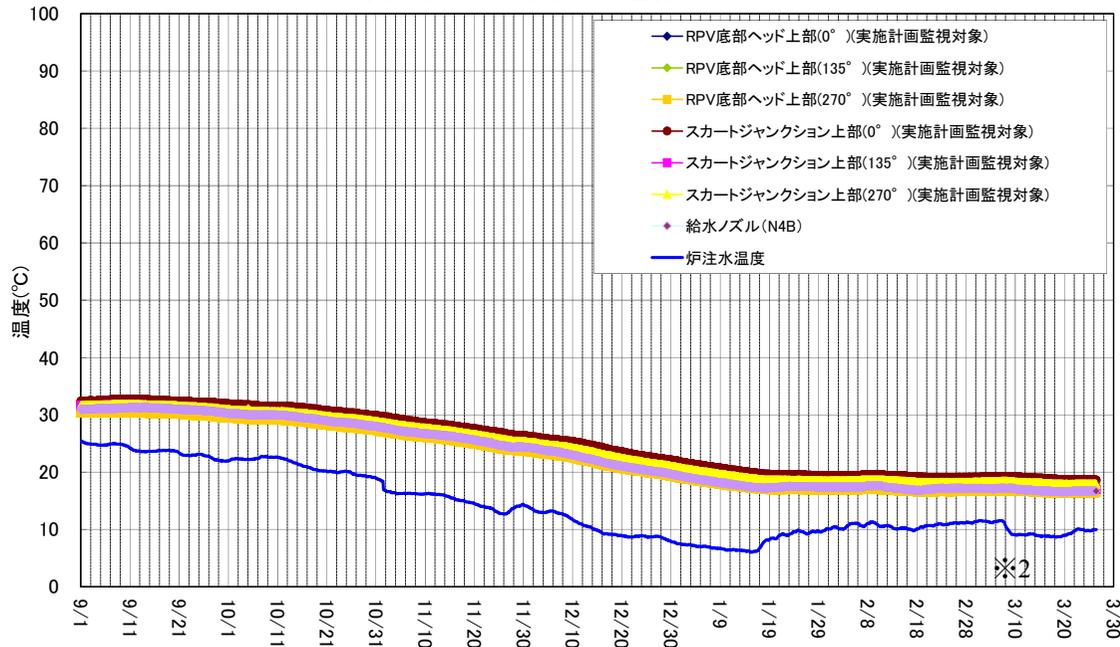


※1 10/12 作業に伴いデータ変動  
 ※2 12/17~18 作業に伴いデータ欠測  
 ※3 12/28 作業に伴いデータ欠測  
 ※4 1/8 炉注水源切替作業に伴いデータ変動  
 ※5 3/7 炉注水供給ライン切替に伴いデータ変動

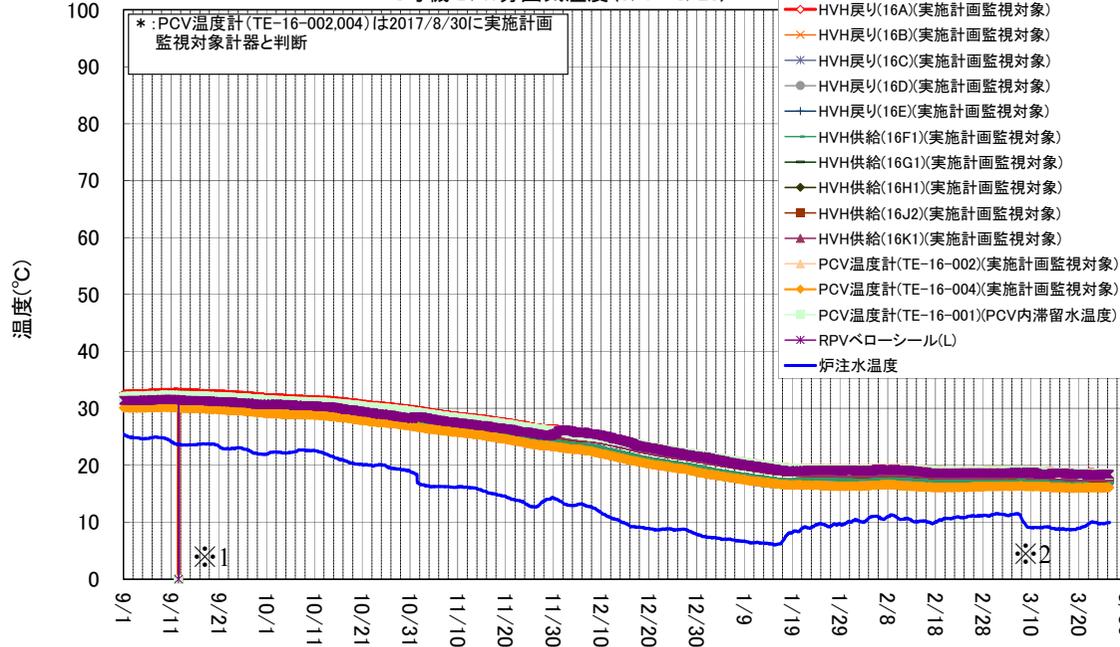
# 3号機



3号機 原子炉压力容器まわり温度 (9/1~3/26)



3号機 D/W雰囲気温度 (9/1~3/26)



※1 9/12 作業に伴いデータ欠測  
 ※2 3/7 炉注水供給ライン切替に伴いデータ変動

滞留水の貯蔵及び処理の状況概略

①建屋内滞留水水位及び貯蔵量

・建屋内滞留水水位は運転上の制限を満足

②1~4号機タンク貯蔵量

・淡水化装置による処理により、RO処理水(淡水)及び濃縮塩水の貯蔵量は変動あり  
・蒸発濃縮装置は全台停止中

③5, 6号機滞留水貯蔵量

・構内散水によりFエアータンク貯蔵量は変動あり

④廃棄物発生量

・除染装置停止中のため、廃スラッジ貯蔵量は変動なし

①建屋内滞留水水位及び貯蔵量

施設	貯蔵量	T/B建屋内水位
1号機	約2,250 m <sup>3</sup>	※7
2号機	約7,160 m <sup>3</sup>	T.P.-393
3号機	約8,430 m <sup>3</sup>	T.P.-414
4号機	約7,420 m <sup>3</sup>	T.P.-465
合計	約25,260 m <sup>3</sup>	

(合計):-1130[m<sup>3</sup>/4週] (合計):-980[m<sup>3</sup>/週]

貯蔵施設	貯蔵量	水位
プロセス主建屋	約14,330 m <sup>3</sup>	T.P.2,674
高温焼却炉建屋	約3,030 m <sup>3</sup>	T.P.261
合計	約17,360 m <sup>3</sup>	

(合計):+3690[m<sup>3</sup>/4週] (合計):+910[m<sup>3</sup>/週]

施設	貯蔵量	貯蔵容量
廃液供給タンク	674 m <sup>3</sup>	1,200 m <sup>3</sup>
SPT(B)	1,492 m <sup>3</sup>	3,100 m <sup>3</sup>
合計	2,166 m <sup>3</sup>	4,300 m <sup>3</sup>

(合計):-179[m<sup>3</sup>/4週] (合計):+795[m<sup>3</sup>/週]

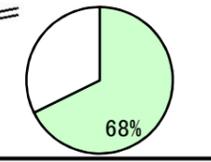
④廃棄物発生量

廃スラッジ



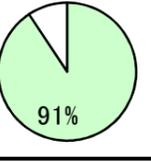
保管量:597/700[m<sup>3</sup>]\*3

使用済ベッセル



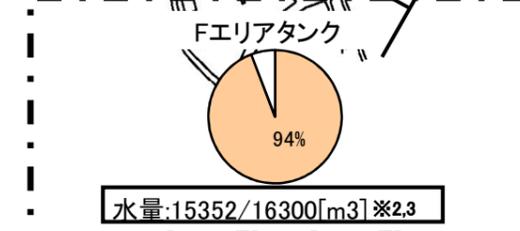
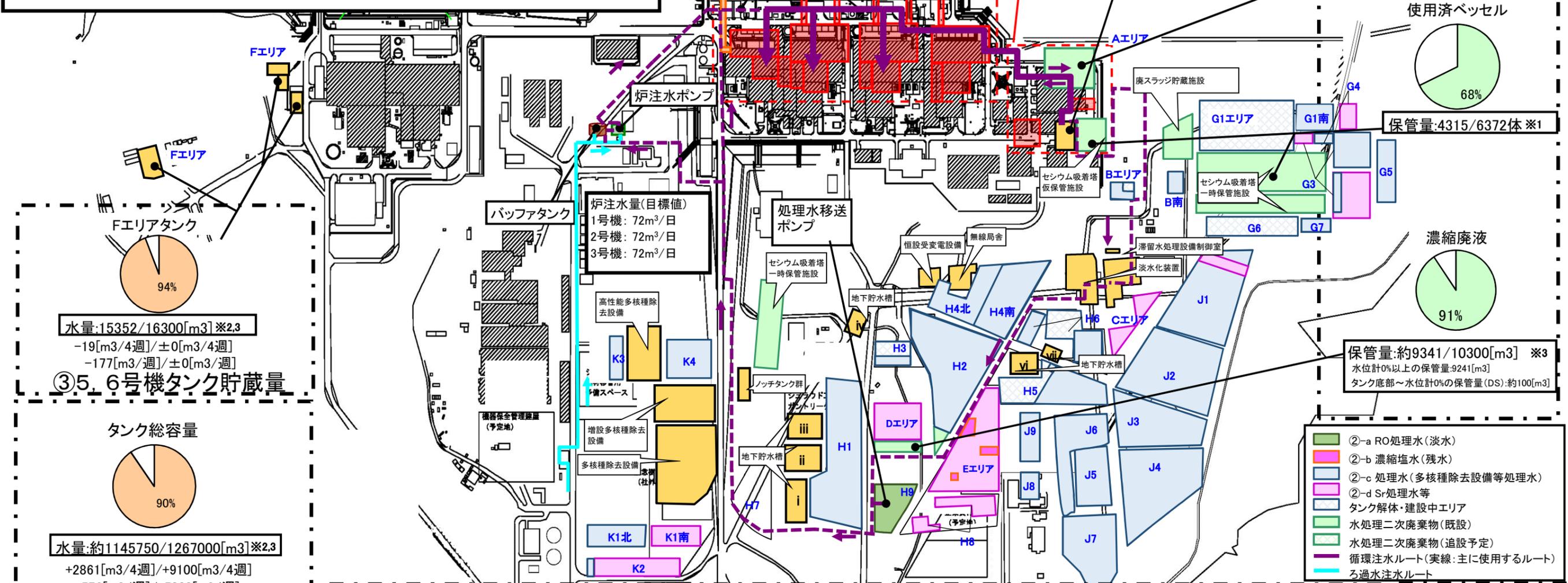
保管量:4315/6372体\*1

濃縮廃液

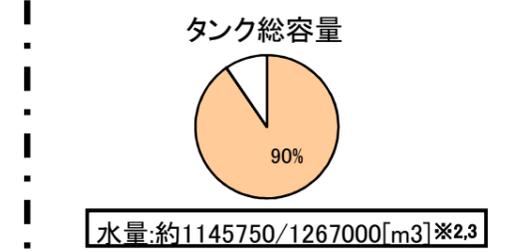


保管量:約9341/10300[m<sup>3</sup>] \*3  
水位計0%以上の保管量:9241[m<sup>3</sup>]  
タンク底部~水位計0%の保管量(DS):約100[m<sup>3</sup>]

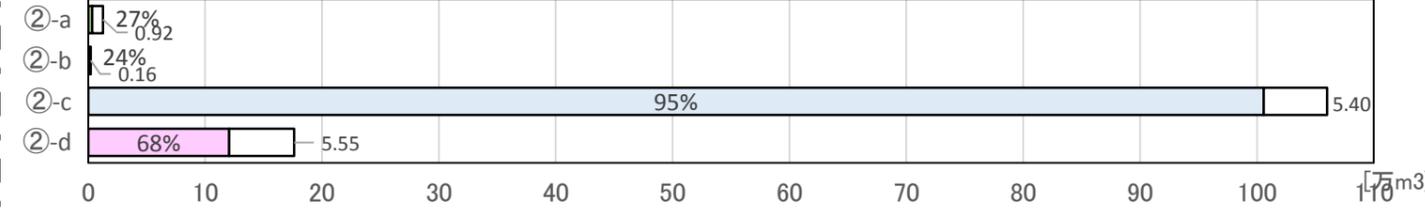
- ②-a RO処理水(淡水)
- ②-b 濃縮塩水(残水)
- ②-c 処理水(多核種除去設備等処理水)
- ②-d Sr処理水等
- タンク解体・建設中エリア
- 水処理二次廃棄物(既設)
- 水処理二次廃棄物(追設予定)
- 循環注水ルート(実線:主に使用するルート)
- ろ過水注水ルート



③5, 6号機タンク貯蔵量

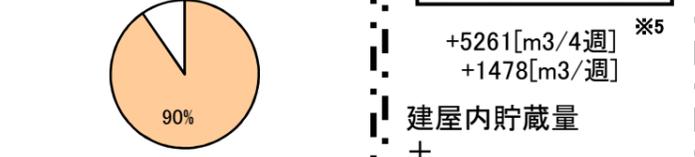


②+③)タンク貯蔵量合計



項目	水量	変動
②-a RO処理水(淡水)	約3449/12600[m <sup>3</sup> ]*2.3	-668[m <sup>3</sup> /4週]/±0[m <sup>3</sup> /4週]
②-b 濃縮塩水(残水)	約500/2100[m <sup>3</sup> ]*2.3	±0[m <sup>3</sup> /4週]/±0[m <sup>3</sup> /4週]
②-c 処理水(多核種除去設備等処理水)	約1005852/1059900[m <sup>3</sup> ]*2.3,4,6	+7480[m <sup>3</sup> /4週]/+11000[m <sup>3</sup> /4週]
②-d Sr処理水等	約120597/176100[m <sup>3</sup> ]*2.3	-3932[m <sup>3</sup> /4週]/-1900[m <sup>3</sup> /4週]

1~4号機タンク総容量



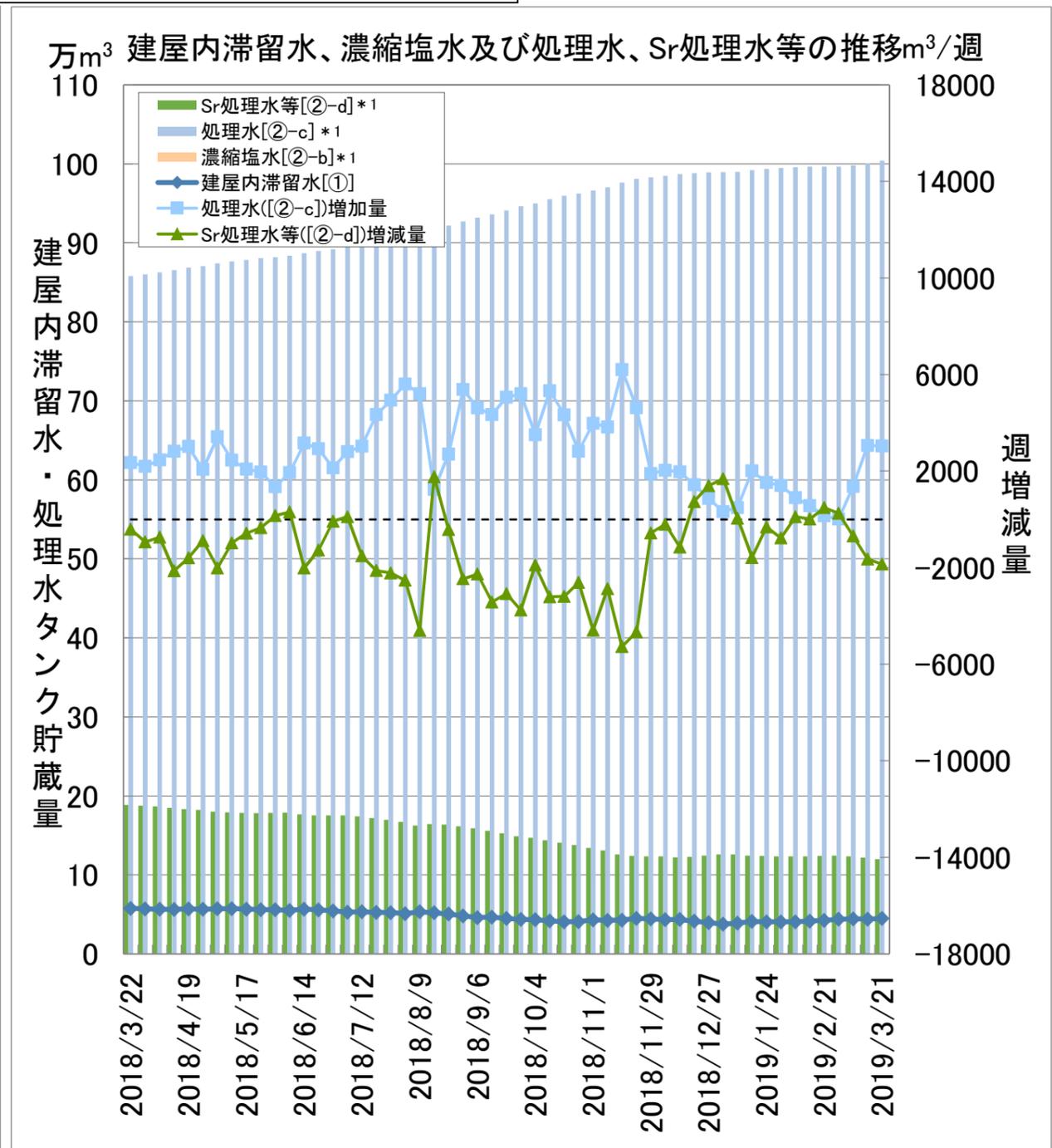
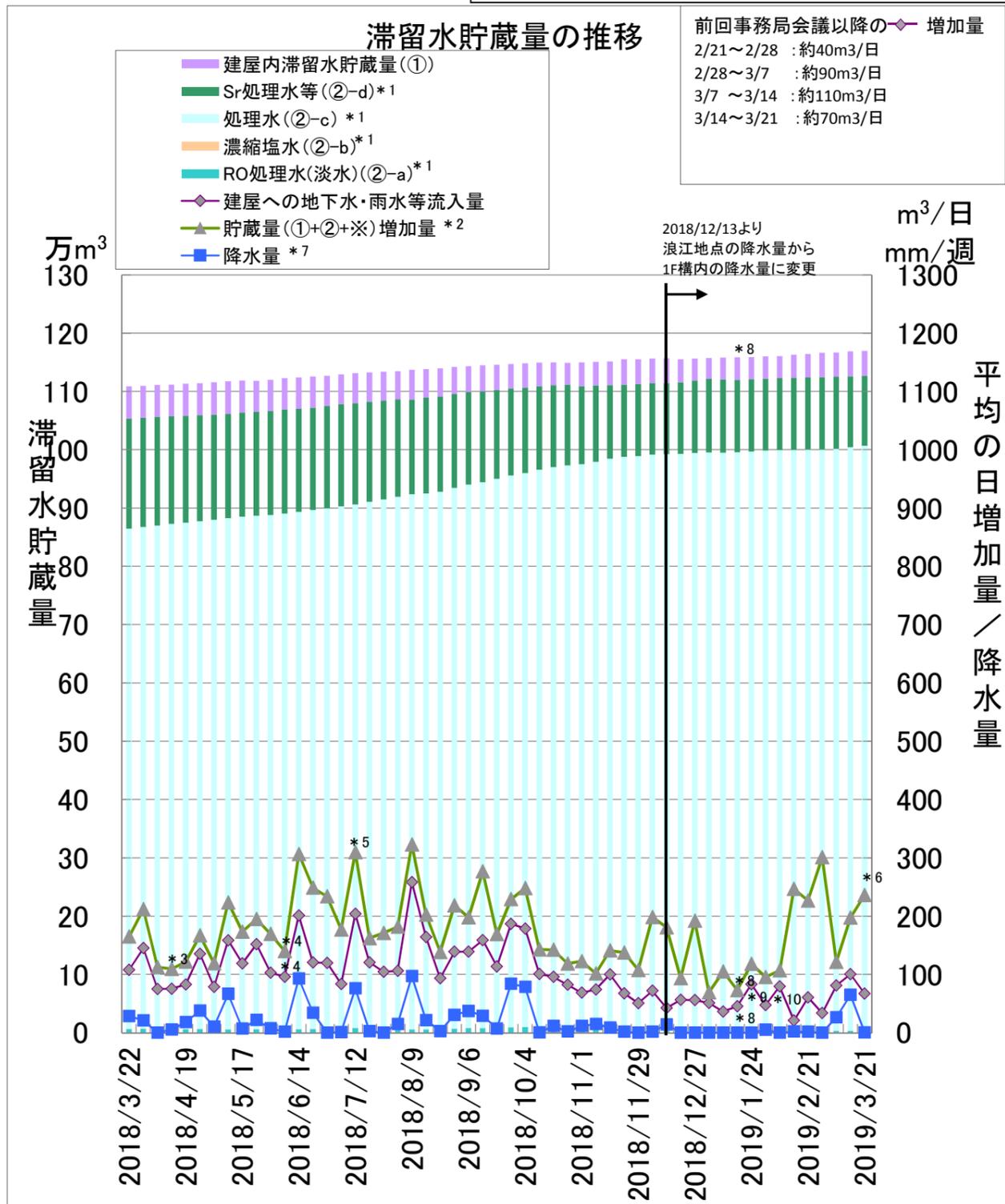
項目	水量	変動
建屋内貯蔵量 + 1~4号機タンク貯蔵量 (①+②)	約1130398/1250700[m <sup>3</sup> ]*2,3,4	+2880[m <sup>3</sup> /4週]/+9100[m <sup>3</sup> /4週]

②1~4号機タンク貯蔵量

②-a RO処理水(淡水) ②-b濃縮塩水(残水) ②-c 処理水 (多核種除去設備等処理水) ②-d Sr処理水等

※1 第二セシウム吸着装置使用済ベッセル及び多核種除去設備の保管容器、処理カラム及びモバイル式処理装置使用済ベッセルを含む  
※2 装置稼働中につき水位が安定しないため参考扱い  
※3 貯蔵容量は運用上の上限を示す(タンクの貯蔵容量は10の位を切り捨てて表記)  
※4 多核種除去設備等(ホット試験中)の処理済水を貯蔵するが、タンクの運用状況に応じて淡水や濃縮塩水を貯蔵  
※5 ウェルポイント・地下水ドレン(約70m<sup>3</sup>/週)、サイトバンカ建屋からプロセス主建屋への移送量(約820m<sup>3</sup>/週)、その他移送量(約170m<sup>3</sup>/週)の合計約1060m<sup>3</sup>/週を含む(端数処理上、各移送量の総和と異なる場合がある)  
※6 放射性物質濃度が高い多核種除去設備B系出口水を含む  
※7 1号機T/Bはすでに水抜きが完了しているため、水位を「-」表記する。  
※8 フランジ型タンクに貯蔵するSr処理水の処理完了(2018/11/17)引き続き、残水処理を進める観点から、以後、フランジ型タンクのタンク底部~水位計0%の水量(DS)は水位計0%以上の水量に含める

# 滞留水の貯蔵状況の推移



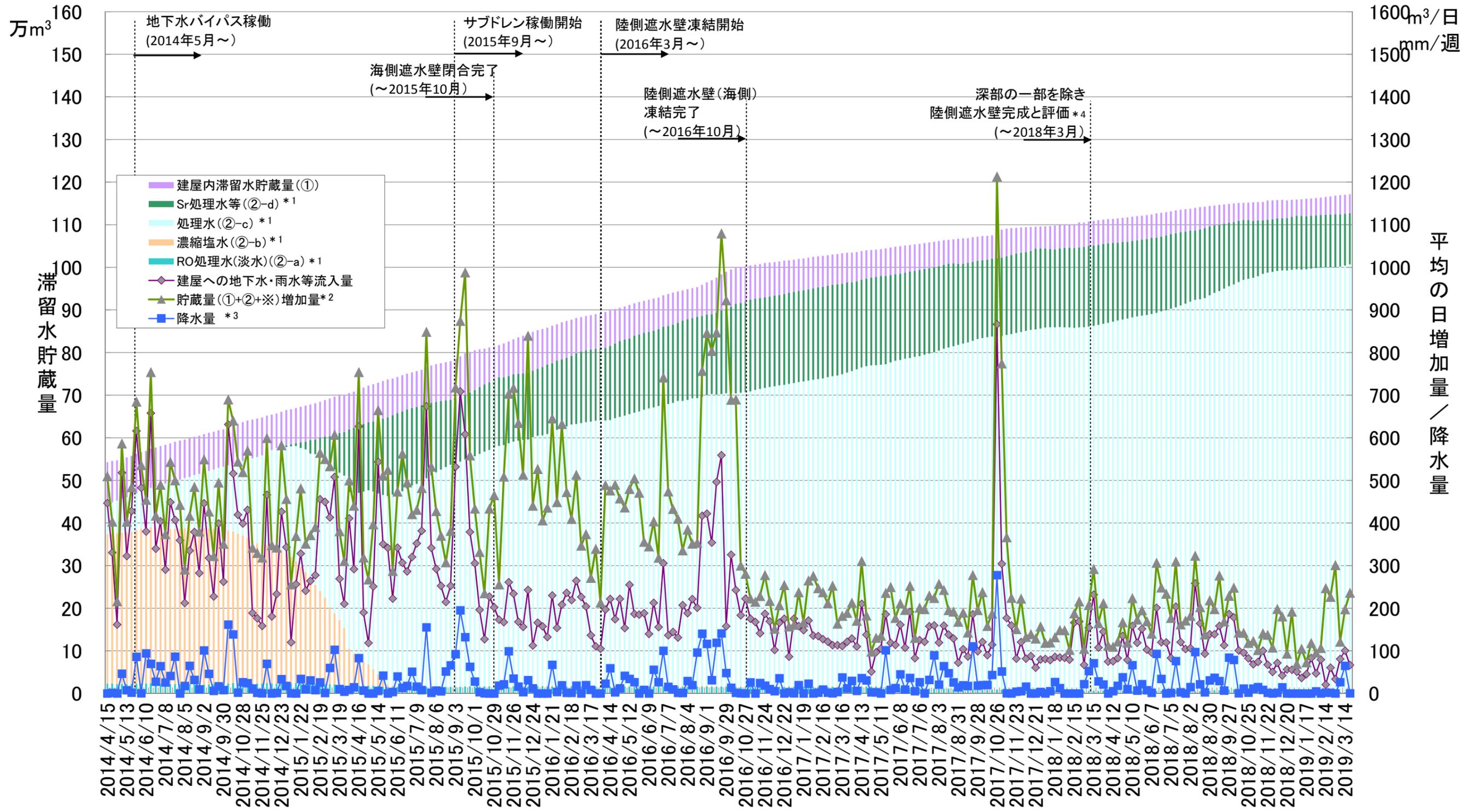
①: 建屋内滞留水貯蔵量(1~4号機、プロセス主建屋、高温焼却炉建屋、廃液供給タンク、SPT(B))  
 ②: 1~4号機タンク貯蔵量 [(2-a)RO処理水(淡水)] + [(2-b)濃縮塩水] + [(2-c)処理水] + [(2-d)Sr処理水等])  
 ※: タンク底部から水位計0%までの水量 (DS)  
 \*1: 水位計0%以上の水量  
 \*2: 貯蔵量増加量の精度向上として、2017/2/9より算出方法を以下の通り見直し。(2018/3/1見直し実施)  
 [(建屋への地下水・雨水等流入量)+(其他移送量)+(ALPS薬液注入量)]  
 \*3: ALPS薬液注入量の算出方法を以下の通り見直し。(増設ALPS:2018/4/12より見直し実施)  
 [(出口積算流量)-(入口積算流量)-(炭酸ソーダ注入量)]  
 \*4: 2~4号機タービン建屋海水系配管等トレンチの滞留水貯蔵量の計算式見直しを踏まえ、再評価を実施。(再評価期間:2017/12/28~2018/6/7)  
 \*5: 1号機海水配管トレンチからの移送量の管理方法見直しを踏まえ、再評価を実施。(再評価期間:2018/5/31~2018/6/28)  
 \*6: 廃炉作業に伴う建屋への移送により貯蔵量が増加。  
 (移送量の主な内訳は①サイト内から建屋からプロセス主建屋への移送:約120m<sup>3</sup>/日、②ALPS薬液:20m<sup>3</sup>/日、③ウェル・地下水ドレンからの移送:約10m<sup>3</sup>/日他)  
 \*7: 2018/12/13より浪江地点の降水量から1F構内の降水量に変更。  
 \*8: 2019/1/17より3号機C/B滞留水を建屋内滞留水貯蔵量に加えて管理。建屋への地下水・雨水等流入量、貯蔵量増加量については2019/1/24より反映。  
 \*9: 2019/1/17の建屋内滞留水の水位低下の影響で、建屋への地下水・雨水等流入量が増加したものと推定。  
 \*10: 建屋水位計の取替えを実施。(2019/2/7~2019/3/7)

処理水	累積処理水	期間処理水		定格処理量
	[m <sup>3</sup> ]	[m <sup>3</sup> /週]	[m <sup>3</sup> /日] <sup>注1)</sup>	[m <sup>3</sup> /日]
既設多核種除去設備 <sup>注2)</sup>	401,541	948	135	750以上
増設多核種除去設備 <sup>注2)</sup>	533,142	2,090	299	750以上
高性能多核種除去設備	102,556	0	0	500以上
高性能 検証試験装置	1,128	0	0	50
Sr処理水等	期間処理水		定格処理量	
	[m <sup>3</sup> /週]	[m <sup>3</sup> /日] <sup>注1)</sup>	[m <sup>3</sup> /日]	
セシウム吸着装置	1,075	154	600	
第二セシウム吸着装置			1200	

注1) 週間の平均値

注2) 既設・増設多核種除去設備処理水の一部は、残水があるRO濃縮塩水タンクに移送し、Sr処理水等として貯蔵

# 滞留水の貯蔵状況の推移(長期グラフ)



①: 建屋内滞留水貯蔵量(1~4号機、プロセス主建屋、高温焼却炉建屋、廃液供給タンク、SPT(B))

②: 1~4号機タンク貯蔵量  
 ([②-aRO処理水(淡水)]+[②-b濃縮塩水]+[②-c処理水]+[②-dSr処理水等])

※: タンク底部から水位計0%までの水量(DS)

\*1: 水位計0%以上の水量  
 \*2: 貯蔵量増加量の精度向上として、2017/2/9より算出方法を以下の通り見直し。(2018/3/1見直し実施)  
 [(建屋への地下水・雨水等流入量)+(其他移送量)+(ALPS薬液注入量)]  
 \*3: 2018/12/6まで浪江地点の降水量を使用していたが、2018/12/13より1F構内の降水量に変更  
 \*4: 深部未凍結箇所3箇所については、2018年9月までに凍結完了

## 各エリア別タンク一覧

(2019年3月21日 現在)

### 1～4号機用貯蔵タンク

※下線部は前回事務局会議資料からの変更点

堰エリア	基数	1基あたり 容量(公称) [m3]	タンク型	貯蔵水	備考
C東	5	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	Sr処理水等(M)	残水処理中
C西	8	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	Sr処理水等(M)	残水処理中
D	31	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(C)	
E	28	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	Sr処理水等(A, C)	残水処理中
	2	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	残水処理中
G3東	24	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
G3西	7	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
	32	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(C, R)	
G3北	6	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(C)	
G4北	6	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
G5	16	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
G7	10	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
G1南	8	1160	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	
	15	1330	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
H1	63	1220	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設・高性能)	
H1東	24	1220	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
H2	44	2400	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
H4北	35	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
H4南	13	1060	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	
	38	1140	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
H6(I)	11	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
H6(II)	9	1356	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
H5	23	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	
H3	10	1356	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
B	5	1330	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
	25	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	
B南	7	1330	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	
H8北	5	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(C)	
H8南	11	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(R)	
H9	5	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	RO処理水(淡水)	
H9西	7	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	RO処理水(淡水)	
J1	90	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
	2	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水 (高性能検証試験装置)	
	8	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(C)	
J2	42	2400	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
J3	22	2400	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設・高性能)	

堰エリア	基数	1基あたり 容量(公称) [m3]	タンク型	貯蔵水	備 考
J4	30	2900	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設・高性能)	
	5	1160	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
J5	35	1235	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
J6	38	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
J7	42	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設・高性能)	
J8	9	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
J9	12	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
K1北	12	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(高性能)	
K1南	10	1160	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(R)	
K2	2	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
	26	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(R)	
K3	12	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	
K4	35	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
多核種除去設備	4	1100	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
高性能多核種除去設備	3	1235	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(高性能)	
増設多核種除去設備	3	1235	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	

合計 975

Sr処理水等内訳 C:セシウム吸着装置等、M:モバイル型ストロンチウム除去装置等

R:RO濃縮水処理設備、A:多核種除去設備等

濃縮廃液

D	10	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	濃縮廃液	
H2	3	100	鋼製横置きタンク(溶接)	濃縮廃液	

5. 6号機用貯蔵タンク

	基数	1基あたり 容量(公称) [m3]	タンク型	貯蔵水	備 考
F2	6	35	鋼製角型タンク(溶接)	5, 6号機滞留水	Aタンク
	6	42	鋼製角型タンク(溶接)	5, 6号機滞留水	Aタンク
	4	110	鋼製角型タンク(溶接+フランジ接合)	5, 6号機滞留水	Bタンク
	5	160	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5, 6号機滞留水	Cタンク
	2	200	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5, 6号機滞留水	Cタンク
F1	3	299	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5, 6号機滞留水	hijタンク
	18	508	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5, 6号機滞留水	hijタンク
	5	1100	鋼製円筒型タンク(溶接)	5, 6号機滞留水	Kタンク

合計 49

(参考)

地下水バイパス用タンク

H3	9	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	地下水	
----	---	------	------------------	-----	--

# 汚染水等構内溜まり水の状況（2019.3.26時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m <sup>3</sup> )	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
1-1	2号機大物搬入口屋上	・2号機大物搬入口屋上	建屋エリアに存在する建屋	降雨量により変動	【2階】 Cs134:<1.0E1 Cs137:2.1E1 全β:2.6E1 H3:1.0E2 (2015.11.2) 【1階】 Cs134:1.1E1 Cs137:4.0E1 全β:4.1E1 H3:1.1E2 (2015.11.2)	
1-2	2号機R/B	2号機R/B	建屋エリアに存在する建屋	降雨量により変動	【上屋】 Cs134:200~340 Cs137:650~1100 全β:920~1900 Sr90:10~20 H3:ND(<100) (2015.1.16)	
2	5,6号機貯留タンク(フランジタンク)	・5,6号機貯留タンク(フランジタンク)	6号機北側	約9,300 (2019.1時点)	Cs134:2.8E0 <b>4.0E0</b> Cs137:4.1E1 <b>4.3E1</b> (2019.2.14) <b>(2019.3.8)</b>	5・6号建屋滞留水・RO処理水を貯留 (5・6号機建屋滞留水処理設備として運用中のため、量は変動する)
3	5,6号機貯留タンク(溶接タンク)	・5,6号機貯留タンク(溶接タンク)	6号機北側	約5000 (2015.4.16時点)	Cs134:7.7E0 Cs137:4.3E1 (2016.10.3)	5・6号建屋滞留水を貯留
4-1	吸着塔一時保管施設(HIC)	・吸着塔一時保管施設(第二施設、第三施設)	・吸着塔一時保管施設(第二施設、第三施設)	0 (ボックスカルバート内の水は拭き取り実施済み、HIC内上澄み水水抜き実施済み) (2018.9)	【No.172(AJ5)蓋外周部(他調査中であったが2015年11月に調査完了)】 Cs134:1.9E+3 Cs137:6.8E+3 全β:3.0E+6 (2015.4.2)	水抜き済
4-2	吸着塔一時保管施設	水処理二次廃棄物(SARRY、KURION、ALPS処理カラム、モバイル式処理装置)	吸着塔一時保管施設(第一施設、第四施設)	1程度(1基あたり)	Cs137:2.0E3~1.6E7 Sr90:5.3E3~4.3E7 (2017.2~2017.3)	
5	No.1ろ過水タンク(RO濃縮塩水/溶接タンク)	・No.1ろ過水タンク(RO濃縮塩水/溶接タンク)	屋外(タンクエリア)	0 (2015年8月水抜き完了)	【No.1ろ過水タンク】 Cs-134:2.3E+03 Cs-137:4.3E+03 全β:6.6E+07 (2013.11.19)	過去、RO濃縮水を貯留 現在は水抜き済
6	4000tノッチタンク(角型タンク)	・4000tノッチタンク	タンクエリア	0 (2018.5.7時点)	【3000tノッチタンク】 撤去済 【1000tノッチタンク】 水抜き済	水抜き済
7	濃縮水タンク(蒸発濃縮装置濃縮水)	蒸発濃縮装置濃縮水用ノッチタンク(スラリー/濃縮水)	タンクエリア(Cエリア)	約65※1 (2019.2.1時点)	【蒸発濃縮装置濃縮水】 Cs134:1.7E4 Cs137:2.5E4 全β:4.7E8 (2011.12.20)	蒸発濃縮装置濃縮水を貯留 ※1:全5タンクの水量を実測して算出
8	淡水貯留タンク(G1エリア地下タンク)	・淡水貯留タンク(横置きタンク)	タンクエリア	— (2017.8時点)	—	撤去済
9	5、6号機逆洗弁ピット及び吐出弁ピット	・5号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット ・6号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット ・5号機逆洗弁ピット ・6号機逆洗弁ピット	5、6号タービン建屋海側 5、6号機スクリーン近傍	(5号機循環水ポンプ吐出弁ピット) 約550 (6号機循環水ポンプ吐出弁ピット) 約850  (5号機逆洗弁ピット) 約1,500 (6号機逆洗弁ピット) 約1,500	【5号機循環水ポンプ吐出弁ピット】(2016.10.5) Cs134:ND Cs137:3.4E0 【6号機循環水ポンプ吐出弁ピット】(2016.10.5) Cs134:ND Cs137:3.7E0 【5号機逆洗弁ピット】(2016.10.3) Cs134:3.0E0 Cs137:1.9E1 【6号機逆洗弁ピット】(2016.10.3) Cs134:1.5E0 Cs137:1.1E1	

汚染水等構内溜まり水の状況（2019.3.26時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m <sup>3</sup> )	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
10	1～4号機T/B屋根	・1号機T/B ・2号機T/B	建屋エリアに存在する建屋	降雨量により変動	【1号機T/B上屋】 Cs134:1.4E1 Cs137:2.5E2 全β: 2.9E2 (2018.4.25)  【2号機T/B上屋】 Cs134:4.4E0 Cs137:4.8E1 全β: 5.9E1 (2018.4.25)	
11	1号CSTタンク (溶接タンク)	・1号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約740 (2016.10.26)	Cs134:2.9E+4 Cs137:1.9E+5 全β: 2.2E+5 (2016.11.7)	RO処理水を貯留
12	2号CSTタンク (溶接タンク)	・2号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1990 (2019.1.28)	Cs134:1.6E+02 Cs137:1.7E+03 (2018.12.14)  全β: 1.5E+03 (2018.12.19)	過去、T/B地下の滞留水を貯留 現在はRO処理水を貯留 (炉注ポンプ水源として使用するための準備中)
13	3号CSTタンク (溶接タンク)	・3号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約2030 (2019.1.28)	【CST入口水(淡水化装置出口水)】 (2018.12.18) <b>(2019.1.17)</b> H3:1.5E6 <b>1.5E6</b> Sr-90:ND <b>ND</b>  【CST貯留水】 (2015.7.16) Cs134:2.1E+3 Cs137:8.0E+3	RO処理水を貯留 (1～3号機CST炉注水ポンプ水源として運用中のため、量は変動する)
14	4号CSTタンク (溶接タンク)	4号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	0	Cs134: ND Cs137: 1.0E0 全β: ND H3 : 7.8E4 (2019.2.14)	プラント保有水を貯留 <b>水抜き済</b>
15	地下貯水槽	地下貯水槽No. 1	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 1.3E6 (2018.9.12)  (参考:漏えい検知孔水) 全β: 1.6E5 (2019.1.30) H3: 4.3E2 (2019.1.2)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
16	地下貯水槽	地下貯水槽No. 2	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 3.1E6 (2018.9.12)  (参考:漏えい検知孔水) 全β: 4.8E4 <b>9.6E4</b> (2019.2.20) <b>(2019.3.20)</b> H3: ND <b>ND</b> (2019.2.6) <b>(2019.3.13)</b>	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
17	地下貯水槽	地下貯水槽No. 3	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 3.2E6 (2018.9.11)  (参考:漏えい検知孔水) 全β: 1.4E5 <b>1.5E5</b> (2019.2.21) <b>(2019.3.21)</b> H3: 1.8E3 <b>3.0E3</b> (2019.2.7) <b>(2019.3.14)</b>	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
18	地下貯水槽	地下貯水槽No. 4	タンクエリア	—	【タンク堰内雨水貯水実績あり】 全β: 2.8E4 (2018.9.12)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
19	地下貯水槽	地下貯水槽No. 5	タンクエリア	撤去完了	【使用実績なし(水張試験のみ)】 —	撤去済

汚染水等構内溜まり水の状況（2019.3.26時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m <sup>3</sup> )	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
20	地下貯水槽	地下貯水槽No. 6	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β：7.8E6 (2018.9.11)  (参考：漏えい検知孔水) 全β：ND <b>3.8E1</b> (2018.11.22) <b>(2019.3.14)</b> H3：ND <b>ND</b> (2018.11.1) <b>(2019.3.14)</b>	水位計の計測限界水深未満（一部残水あり） (2018.9.26時点)
21	地下貯水槽	地下貯水槽No. 7	タンクエリア	—	【タンク堰内雨水貯水実績あり】 全β：1.5E2 (2018.9.12)	水位計の計測限界水深未満（一部残水あり） (2018.9.26時点)
22	1-4号建屋接続トレンチ	・1号機コントロールケーブルダクト ・集中環境施設廃棄物系共通配管ダクト(2号機廃棄物系共通配管ダクト) ・1号機薬品タンク連絡ダクト 等	1～4号機周辺	約1～1400 (2018.12)	Cs134:6.1E0～6.7E1 Cs137:7.1E1～5.7E2 全β：8.0E1～8.2E2 H3：ND～3.3E2 (2017.10～2018.2)  【1号機コントロールケーブルダクト】 Cs134:1.1E1 Cs137:1.3E2 全β：1.5E2 H3：ND (2018.12.6)  【集中環境施設廃棄物系共通配管ダクト】 Cs134:2.3E1 Cs137:2.3E2 全β：2.5E2 H3：1.3E3 (2018.12.22)  【1号機薬品タンク連絡ダクト】 Cs134:6.1E1 Cs137:7.3E2 全β：6.3E2 H3：ND (2018.12.18)  【4号機放射性流体用配管ダクト】 Cs134:4.8E1 <b>3.8E2</b> Cs137:5.0E2 <b>4.7E3</b> 全β：6.4E2 <b>4.7E3</b> H3：4.1E4 <b>5.6E3</b> (2019.1.10) <b>(2019.3.13)</b>	<b>集中環境施設廃棄物系共通配管ダクト(凍土壁外)の水抜き実施中</b>
23	2～4号機DG連絡ダクト	・2～4号機DG連絡ダクト	2～4号機山側	約1600 (2018.12.12)	Cs134:9.5E0 Cs137:9.6E1 全β：1.4E2 H3：ND (2018.12.12)	
24-1	1号機海水配管トレンチ	・1号機海水配管トレンチ	1号機タービン建屋海側	約400 (2018.12.19時点)	Cs134:2.9E0 Cs137:4.5E1 全β：5.6E1 (2018.12.18)	
24-2	2号機海水配管トレンチ	・2号機海水配管トレンチ	2号機タービン建屋海側	0 (2015.6.30時点)	—	充填済 (建屋接続部近傍を除く)
25-1	3号機海水配管トレンチ	・3号機海水配管トレンチ	3号機タービン建屋海側	0 <sup>(注)</sup> (2015.7.30時点) (注)立坑D上部を除く	—  【立坑D】 Cs134:5.6E5 Cs137:1.9E6 全β：4.2E6 H3：1.5E5 (2015.2.27)	充填済 (立坑D上部を除く)
25-2	4号機海水配管トレンチ	・4号機海水配管トレンチ	4号機タービン建屋海側	0 <sup>(注)</sup> (2015.12) (注)建屋接続部及び建屋接続部近傍の開口部を除く	—	充填済 (建屋接続部近傍及び建屋接続部近傍の開口部を除く)
26	3号機起動用変圧器ケーブルダクト	・3号機起動用変圧器ケーブルダクト	3号機山側	約830 (2018.12.10)	Cs134:4.8E1 Cs137:4.0E2 全β：4.4E2 H3：ND (2017.10)	

汚染水等構内溜まり水の状況（2019.3.26時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m <sup>3</sup> )	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
27	廃棄物処理建屋間連絡ダクト	・廃棄物処理建屋間連絡ダクト	プロセス主建屋北側	充填完了	—	充填済
28	1-4号建屋未接続トレンチ	・2号機変圧器防災用トレンチ ・消火配管トレンチ(3号機東側) ・1号機主変圧器ケーブルダクト ・1号機廃液サージタンク連絡ダクト ・1号機オフガス配管ダクト 等	1-4号機周辺	約1~830 (2018.12)	Cs134:ND~2.2E2 Cs137:ND~9.2E2 全β:5.1E1~1.4E3 H3:ND~3.1E2 (2015.10~2016.1)  【2号機変圧器防災用トレンチ】 Cs134:1.7E1 Cs137:1.6E2 全β:7.2E2 H3:1.7E3 (2018.12.7)  【1号機主変圧器ケーブルダクト】 Cs134:1.5E1 Cs137:1.7E2 全β:1.9E2 H3:ND (2018.12.6)  【2号機主変圧器ケーブルダクト】 Cs134:3.5E0 Cs127:5.8E1 全β:7.6E1 H3:ND (2018.12.7)  【4号機主変圧器ケーブルダクト】 Cs134:4.5E0 Cs127:5.0E1 全β:5.4E1 H3:1.2E2 (2018.12.10)	
29	1~4号機サブドレンピット No.15,16(未復旧ピット)	・サブドレンピットNo.15,16	1~4号機周辺 「未復旧」	約20m <sup>3</sup>	No.16  Cs134:1.2E5 <b>1.0E5</b> Cs137:1.5E6 <b>1.3E6</b> 全β:1.9E6 <b>1.5E6</b> H-3:3.9E4 <b>2.1E4</b> (2018.12.04) <b>(2019.2.18)</b>	
30	その他1~4号機サブドレン(ディー プウェル含む)(未復旧ピット)	・1号機~4号機サブドレン	1~4号機周辺 「未復旧」	約15/ピット	No.47,48  Cs134:ND~3.9E1 Cs137:4.8E1~9.6E1 全β:7.9E1~2.8E2 H-3:ND (2014.11.10)	
31-1	1~4号機逆洗弁ピット	・1号機逆洗弁ピット ・2号機逆洗弁ピット ・3号機逆洗弁ピット ・4号機逆洗弁ピット	1~4号タービン建 屋海側	(1号機逆洗弁ピット) 約300 (2018.12.17)  (2号機逆洗弁ピット) 約900 (2018.12.21)  (3号機逆洗弁ピット) 約900 (2018.12.12)  (4号機逆洗弁ピット) 約1400 (2018.12.12)	(1号機逆洗弁ピット) (2018.12.17) Cs134:1.4E3 Cs137:1.7E4 全β:2.0E4 H3:1.6E2  (2号機逆洗弁ピット) (2018.12.21) Cs134:3.9E1 Cs137:5.0E2 全β:5.8E2 H3:1.6E2  (3号機逆洗弁ピット) (2018.12.12) Cs134:6.5E2 Cs137:7.5E3 全β:8.8E3 H3:1.0E3  (4号機逆洗弁ピット) (2018.12.12) Cs134:6.7E1 Cs137:8.2E2 全β:1.0E3 H3:1.2E2	<b>3号機逆洗弁ピットの水 抜き実施中</b>
31-2	1-4号機吐出弁ピット	・1号機ポンプ室循環水ポンプ吐出 弁ピット ・4号機ポンプ室循環水ポンプ吐出 弁ピット	1~4号タービン建 屋海側	【1号吐出弁ピット】 0 (2015.11)  【4号吐出弁ピット】 0 (2015.10)	【1号機吐出弁ピット】 —  【4号機吐出弁ピット】 —	水抜き済

# 汚染水等構内溜まり水の状況（2019.3.26時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m <sup>3</sup> )	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
32	1号機放水路 (出口を閉塞済)	・1号機放水路 (出口を閉塞済)	1～4号タービン建屋海側	約4200 (2018.12.17)	【放水路上流側立坑】 (2019.2.22) <b>(2019.3.22)</b> Cs134:2.4E2 <b>1.5E2</b> Cs137:2.8E3 <b>1.9E3</b> 全β :4.4E3 <b>2.6E3</b> H3 :3.5E2 <b>2.9E2</b>	
33	2号機放水路 (出口を閉塞済)	・2号機放水路 (出口を閉塞済)	2～4号機タービン建屋海側	約3600 (2018.12.14)	【放水路上流側立坑】 (2019.2.22) <b>(2019.3.22)</b> Cs134:8.4E1 <b>9.2E1</b> Cs137:9.9E2 <b>1.2E3</b> 全β :1.6E3 <b>1.4E3</b> H3 :1.8E2 <b>1.8E2</b>	
34	3号機放水路 (出口を閉塞済)	・3号機放水路 (出口を閉塞済)	3～4号機タービン建屋海側	約1600 (2018.12.17)	Cs134:3.1E1 <b>3.2E1</b> Cs137:3.9E2 <b>4.2E2</b> 全β :5.1E2 <b>5.4E2</b> H3 :1.9E2 <b>2.4E2</b> (2019.2.6) <b>(2019.3.6)</b>	
35	キャスク保管建屋	・キャスク保管建屋	物揚場 西側	約4500	Cs134:7.2 Cs137:23 I-131:<4.3 Co-60:<4.2 全γ放射能:3.1E+1 (2014.5.23)	
36	5号CSTタンク (溶接タンク)	・5号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1100 (2019.1.29)	(2019.2.6) <b>(2019.3.6)</b> Cs134: ND <b>ND</b> Cs137: ND <b>ND</b> Co60: 5.8E2 <b>5.2E2</b>	プラント保有水を貯留 (プラント系統として運用 中のため量は変動する)
37	6号CSTタンク (溶接タンク)	・6号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1700 (2019.1.29)	(2019.2.21) <b>(2019.3.14)</b> Cs134: ND <b>ND</b> Cs137: ND <b>ND</b> Co60: 1.3E1 <b>1.4E1</b>	プラント保有水を貯留 (プラント系統として運用 中のため量は変動する)
38	5/6号他 トレンチ	・5号機海水配管トレンチ ・5・6号機スチームドレン配管トレンチ ・5号機重油配管トレンチ(東側) ・5号機放射性流体用配管ダクト ・5号機主変圧器ケーブルダクト等	5～6号機周辺	約1～1900 (2015.10～2016.1)	Cs134:ND～2.2E2 Cs137:ND～9.9E2 (2015.10～2016.1)	
39	5, 6号機サブドレン	・5.6号機サブドレンピット	5～6号機周辺 ※「復旧対象」	約15/ピット	Cs134:ND Cs134:ND～3.5 全β :ND～4.8 H-3:ND～140 (採水期間:2017.10～2018.3)	
40	キャスク保管建屋サブドレン	・キャスク保管建屋サブドレン	物揚場 西側	約15/ピット	Cs134:1.0E+1 Cs137:1.4E+1 Co-60:<6.0E-01 全γ放射能:2.4E+1 (2012.1.18)	
41	SPTタンク(1～4号)(A) (溶接タンク)	・SPTタンク(1～4号)(A) (溶接タンク)	SPT建屋	約2800 (2015.3.25時点)	Cs134:8.0E+4 Cs137:1.6E+5 Co60:6.5E+2 (2013.8.27)	プラント保有水等を貯留
42	集中ラド周りサブドレン	・集中ラド周りサブドレン	主プロセス建屋等 各建屋周辺	約15/ピット	Cs134:ND <b>ND</b> Cs137:ND～5.9E1 <b>ND～3.3E1</b> (2019.2.24) <b>(2019.3.23)</b>	
43	メガフロート	・メガフロート	港湾内	約9000 (2017.3)	No.5VOID Cs134:ND Cs137:2.7 Sr90:ND H3: ND (2017.2.16)	パラスト水を貯留
44	純水タンクNo.1	・純水タンク	屋外(建屋エリア)	約850	Cs134:2.1 Cs137:7.2 全β :12.2 H-3:ND (2015.5.29)	震災後、坂下ダム補給水を貯留

## 汚染水等構内溜まり水の状況（2019.3.26時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m <sup>3</sup> )	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
45	5/6号機建屋滞留水	・5/6号機建屋滞留水	5～6号機	約3,000 (2019.2.19時点)  <b>約4,650</b> <b>(2019.3.14時点)</b>	【5号機】 Cs134:ND <b>ND</b> Cs137:9.0E-1 <b>ND</b> H3: ND <b>ND</b> 全β: ND <b>ND</b> (2019.1.22) <b>(2019.2.18)</b>  【6号機】 Cs134:ND <b>ND</b> Cs137:3.0E0 <b>2.2E0</b> H3: 2.1E2 <b>ND</b> 全β: ND <b>ND</b> (2019.1.24) <b>(2019.2.21)</b>	5/6号機復水器の貯留量 (約1600m <sup>3</sup> )を加味
46	排気筒ドレンサンピット	・1/2号排気筒ドレンサンピット ・3/4号排気筒ドレンサンピット ・5/6号排気筒ドレンサンピット ・集中Rw排気筒ドレンサンピット	1～4号機周辺 5/6号機周辺	1/2号サンピット 約0.3※  3/4号サンピット 約2  5/6号サンピット 約5  集中Rwサンピット 約10  ※適宜溜まり水の移送を実施	【1/2号サンピット】 (2018.12.14) <b>(2019.3.5)</b> 全β:2.6E7 <b>2.8E7</b> Cs134:1.9E6 <b>1.4E6</b> Cs137:2.4E7 <b>2.0E7</b>  【3/4号サンピット】 (2016.3.17) 全β:1.3E3 Cs134:2.4E2 Cs137:1.1E3  【5/6号サンピット】 (2015.9.16) 全β:7.6E1 Cs134:1.2E1 Cs137:4.7E1  【集中Rwサンピット】 (2015.12.17) 全β:7.6E2 Cs134:1.5E2 Cs137:6.6E2	
47	固体廃棄物貯蔵庫(6～8号棟)	固体廃棄物貯蔵庫(6～8号棟)	固体廃棄物貯蔵庫 (6～8号棟)	約200	Cs-134:ND Cs-137:5.3E+1 全β:4.8E+1 (2017.11.10)	
48	5、6号機海側屋外既設タンク	SPTタンク(5～6号)	物揚場 北側	<タンク> 約500 (2019.1.10)  <雨仕舞> 約200 (2019.1.10)  <ポンプ室> 約60 (2019.1.10)	<タンク> Cs134:ND Cs137:6.2E1 全β:1.5E2 H-3:2.9E3 Co60:4.9E1 (2019.1.10)  <雨仕舞> Cs134:ND Cs137:3.3E1 全β:3.4E1 H-3:1.1E3 (2019.1.10)  <ポンプ室> Cs134:ND Cs137:1.8E1 全β:1.5E1 H-3:1.5E3 (2019.1.10)	プラント保有水等を貯留